

パチンコ店計画の再考を求める

「市民の集い」に100名越す参加

三鷹駅北口の4階建て大型パチンコ店建設計画について、反対の意思を示す「市民の集い」が4月25日に中央コミセンでおこなわれ、100名以上が参加しました。日本共産党の梶雅子・橋本しげき両議員と本間まさよ市委員長も参加しました。

市民が次々と発言し、パチンコ店進出反対を訴えました。「高齢者は緑を求めて武蔵野に来ているので絶対反対」、「歴史と文化のまちを守ろう」、「吉祥寺の近鉄裏は市民のたたかいで変えた、頑張ろう」、「我々が良いパーティーをしようとしているときにハエがとんできた、ハエには出ていってもらおう。外から来る資本に対して断固いらないと対処しよう」などとあつい発言に盛り上がりました。

最後に、パチンコ店計画の再考を求め、市民・議会・行政が一丸となって取り組むまちづくり協議会の設置を求めるアピールを確認しました。

アピール

昨年4月に「まちづくり条例」の施行、今年度中には「都市マスタープラン」が見直されます。私たち、三鷹駅北口地区のまちづくりに関心をもつ市民も、武蔵野市の玄関口にふさわしい、文化的で緑豊かな、落ち着きをもったまちをつくりたいと思っています。しかしながら遊休地の目立つ三鷹駅北口地区には、吉祥寺駅や武蔵境駅周辺のようなビジョンもなく、この先どうなっていくのかといった不安がありました。

その不安は的中し、昨年末突然、三鷹駅北口に大型パチンコ店出店計画が持ち上がり、現在では、まちづくり条例に則って出店を前提とした条件調整段階に入ってしまった。私たちはこの三鷹駅北口を、子どもたちに誇れる景観として残していく責務があると考えます。「計画の中止とともに三鷹駅北口のまちづくり基本構想検討協議会（仮称）の早急の設置」を求める陳情が市議会に出され（署名数3100余）、「住民の心情を尊重し、業者の再考を求め厳しく指導されたい」という主旨の意見が付帯されて全会一致で採択されました。

以上のことから、私たちは、

1. 三鷹駅北口への大型パチンコ店出店計画の再考を強く求めます。
2. 三鷹駅北口地区は「玉川上水」という歴史的文化的遺産を有し、また「かたらいの道」への入り口でもあります。市民・議会・行政が一丸となって取り組める武蔵野市の玄関口にふさわしいまちづくり協議会を、早急に設置するよう求めます。

2010年4月25日

「三鷹駅北口まちづくり市民の集い」参加者一同